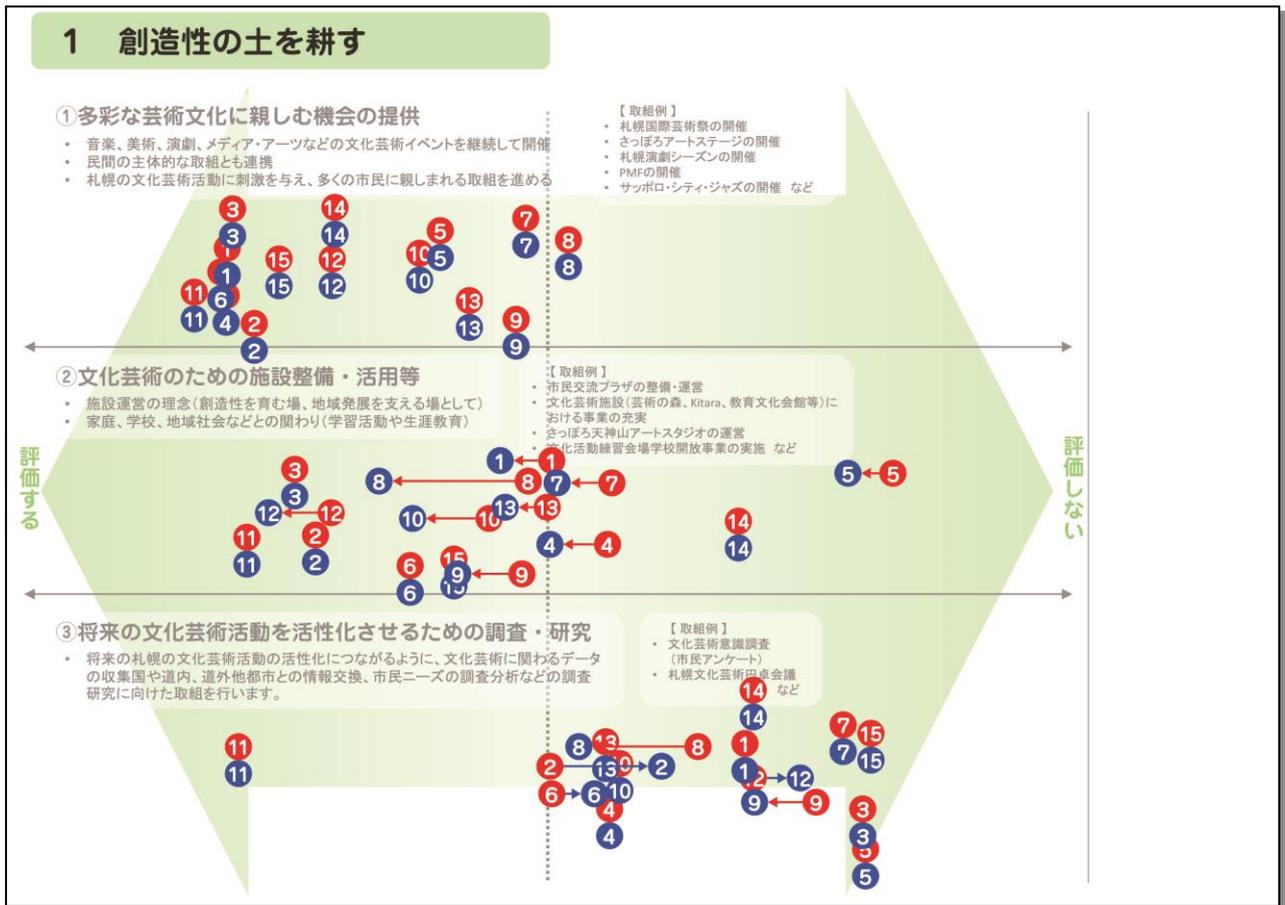


# 1) 創造性の土を耕す

## ■全体のまとめ

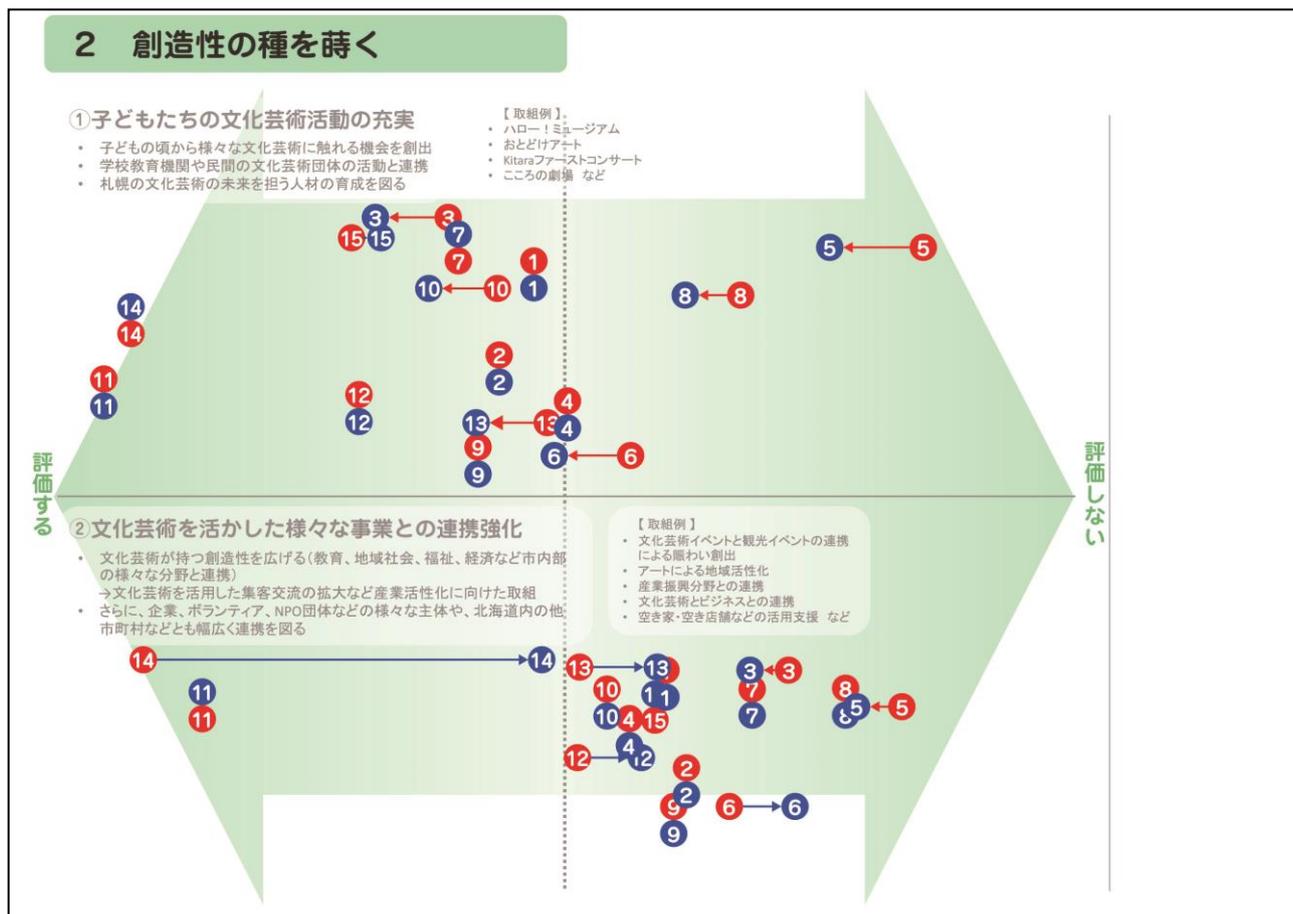


	評価する理由	評価しない理由
① 多彩な芸術文化に親しむ機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ もともと高めの評価だった。新しい情報がなかったため、この位置にした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大体知っていたため、評価は変わらない。(芸術文化関係に興味のある人の集まりであるため知っていた。) 数としてはあるので、評価できるがそれが広く浸透しているかは別問題。</li> </ul>
② 文化芸術のための施設整備・活用等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回のテーブルの中で天神山の話を知ったのと、自分で取組みを調べて評価が上がった。</li> <li>・ 天神山アートスタジオの話は初めて知った。良い取り組みだと思う。アクセスを良くするなど、もっと広く色々な人が利用できる工夫があっても良い。</li> <li>・ 天神山アートスタジオのアーティスト利用者数が増えていることや、既存の施設活用の話など、知らなかったので評価が上がった。</li> <li>・ 前回までは知らなかった情報を知ることができたため、評価が上がった。</li> <li>・ 情報提供をしてもらって理解が深まったため評価が上がった。</li> <li>・ 学校の施設を活用していることを知ったため。</li> <li>・ 施設の整備はお金がかかるものだから、市民交流プラザなどをつくることに対して評価する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 天神山アートスタジオは良いことをしているがPRが足りていない。必要である。</li> <li>・ 天神山アートスタジオはもっと全市的に知らせていくべき。</li> <li>・ 天神山のパンフレットについて、現在はアーティスト目線の情報しかないように感じるため、市民目線の方が良い。</li> <li>・ ハードについては良いと思う。施設の内容は充実しているが、中のスペースはどんな展示でもできるのかなどソフトもしっかりと取り組んでほしい。</li> <li>・ 財団が管理する芸術の森美術館などは、行きたいと思う取組を行うことが必要である。</li> <li>・ 500m 美術館などの無料の所の方が内容が充実している。行きたいと思う内容については、専門的なヒアリングを行なっていくと良い。</li> <li>・ 500m美術館、北3条通り、チカホなどでアンケートを取った方が良い。</li> <li>・ もっとチャレンジした活用方法を考えてほしい。箱を上手く活かしたい。</li> </ul>

<p>③ 将来の文化芸術活動を活性化させるための調査・研究</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ H23 年と H26 年の意識調査を比べると見えてくるところがあると感じた。これからも継続し、定量的なデータとすることで有効なものになる。</li> <li>・ 情報提供によりアンケートをやっていることが分かったため、評価が上がった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 意識調査について、今のままだと使えるデータではないと感じる。市外や道外の政令指定都市の意識調査と比較をしてはどうか。もう少し発展させて考えると、より有効なデータになるのではないか。</li> <li>・ アンケートの設問で、他都市との比較についてはどこを比べているのかが分からないため、政令市例都市など対象を明確にした方が良い。</li> <li>・ アンケートが毎年同じ項目だが、分析が足りていないのではないか。</li> <li>・ アンケートの項目が足りない部分もあるため、内容をしっかり見直してほしい。</li> <li>・ もっと実用的なアンケートをつくってほしい。</li> <li>・ 市民の他に専門家の意見を聞く場も必要である。</li> <li>・ 出来るだけたくさんの方の意見を聞くべき。このワークショップの巨大版をチカホに貼って、みんなにもやってもらってはどうか。</li> <li>・ 来札アンケートで PMF の認知度などを調査しているため、上手く活用できると良い。</li> </ul>
-----------------------------------	---	--

## 2) 創造性の種を蒔く

### ■全体のまとめ



	評価する理由	評価しない理由
①子どもたちの文化芸術活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハローミュージアムやおとどけアートについては知っていたが、音楽系の取組のことを知らなかった。</li> <li>子供向けの取組は知っていた。幼児向けの取組もあると良いと思っていたが、情報提供によって取組んでいることが分かったので評価した。今後にもっと期待する。(「検討する」という記述があるため)</li> <li>ハロー！ミュージアムなどやっていることは分かった。その成果が見える形で出てくると良い。子どもたちの生の声を聞いてみたい。</li> <li>昔に比べて結構取り組んでいることが分かった。</li> <li>資料を見て、しっかり取り組んでいると実感した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>以前はバス 2 台で行っていた芸術の森美術館へのツアーだが、バスが 1 台になってしまった。また増やしてほしい。(小学校低学年を対象としたボランティアをしていた。)</li> <li>中学生以上に対する取り組みが少ないと感じた。</li> <li>教育機関との連携について、学生が国際芸術祭などでプロがどう動いているかを見る機会が必要である。</li> <li>学生が現場から学ぶ実践的なものがあると良い。</li> </ul>

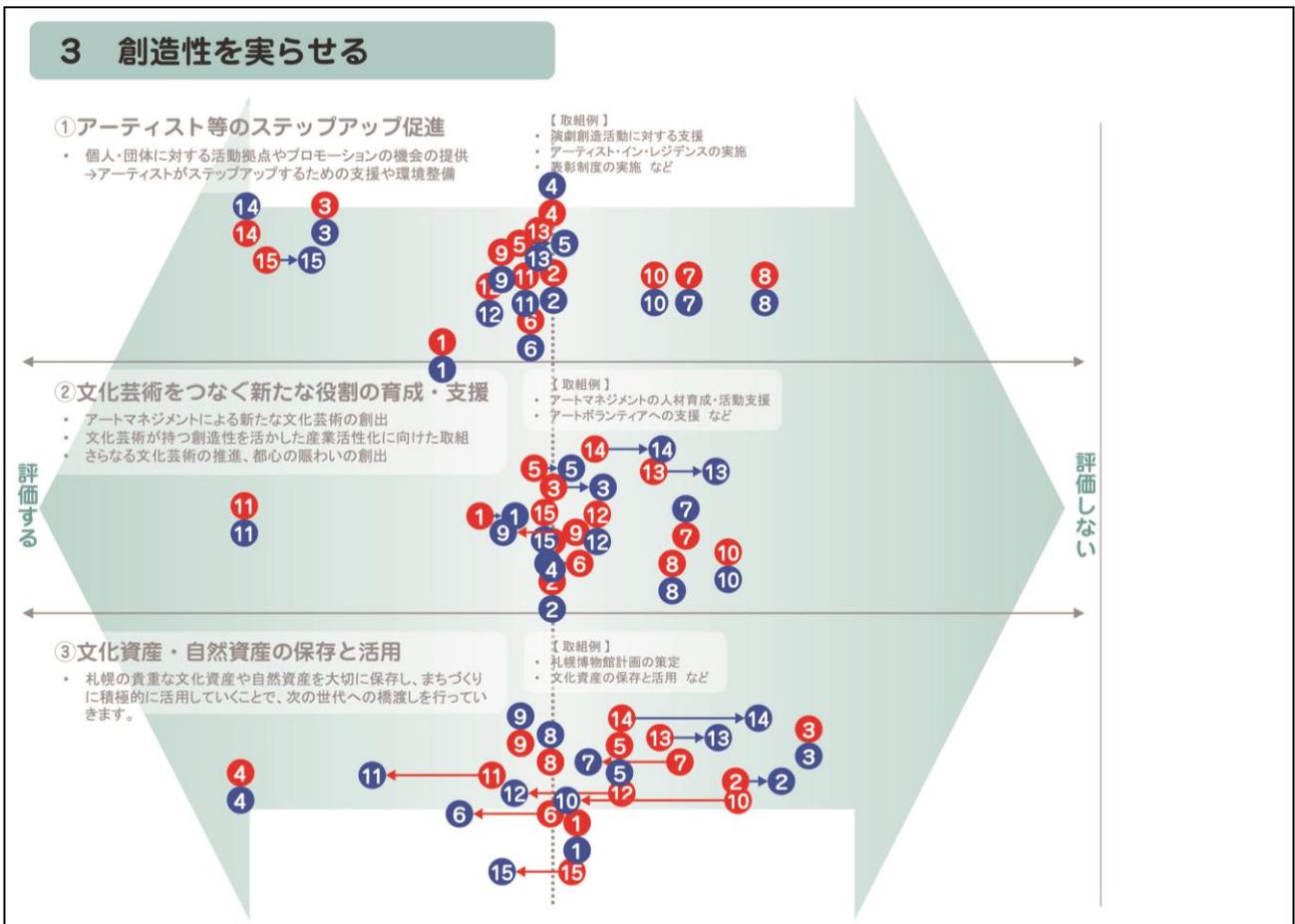
<p>②文化芸術を活かした様々な事業との連携強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報が得て評価が少し上がったが、一方でこの程度の取組みしかしていないのかとも思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ どんな連携を行なっているかわかったが、それからどうしたいのか分からない。連携することの目的と効果を明確にするべき。</li> <li>・ 芸術の森美術館での取組みを他の施設で実施するという連携は行なっているが、効果があまり見えない。事務局側の情報共有や交流の場にはなっているが、市民に還元されているかは疑問。市民としては、普段は行かないところに行くということはあるかもしれない。</li> <li>・ 取組がいまいち見えない。見えやすいものと見えにくいものがある。</li> <li>・ 大学の取組（市立大）が何をやっているか見えない。</li> <li>・ 平岸高校では真駒内駅や市のポスターなどをつくっている。製作する物はあるが、マネジメントのための活躍の場がない。</li> <li>・ 空き家活用は何をやっているかわからない。エリアが限られているため、もっと広げると良い。</li> <li>・ 世界に名立たるモエレ沼公園、芸術の森美術館は観光の素材になっている。ただ、アクセスと案内の仕方が悪い。</li> <li>・ 札幌は、映画の舞台になったところも多い。数多くの文学の舞台にもなっている。素地はあるので、活かすと良い。（例：フィルム・コミッション、映画の舞台を巡る聖地巡礼ツーリズムなど、旭川市の三浦綾子さんをめぐるイベントみたいなもの）</li> <li>・ 空き店舗・空き家の活用は実際難しいのではないか。</li> <li>・ イベント認知度は来札アンケートの結果で低く、施設も知られていないことが分かった。</li> <li>・ 観光との連携はもっとできるのではないか。</li> <li>・ 地域の活性化は文化部だけでは難しいため、方向性が見えてこない。</li> </ul>
------------------------------	---	--

《その他の意見》

- ・ 円卓会議の進行方法が評価が上がる仕組みになっているのではないか。

### 3) 創造性を実らせる

#### ■全体のまとめ



	評価する理由	評価しない理由
①アーティスト等のステップアップ促進		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小中学生が合唱コンクールや演劇コンクールなどを鑑賞する機会が少ないと思う。スポーツに比べると文化芸術の取組がすごく弱い。</li> <li>・ プロのアーティストでなくても、成果を出している学生サークルや部活はある。小中学生の発表の場は少ないため、優秀な学生は優先的に発表の場を使えるなどすると良いのではないか。</li> <li>・ 札幌市のアートへの支援は少ないと思うが、作品をつくっている人はたくさんいるため、全てのバックアップをするのは難しいと思う。</li> <li>・ アートセンターの内容が見えてくると評価は変わると思う。</li> <li>・ 審査のある「アーティストバンク」があると良い。現在のアーティストバンクはただの登録で、更新もされていない。活用する人が信頼できるものになりたい。</li> <li>・ 美術館が自ら取り組んでいるところもある。これを支援する仕組みとして企業メセナを絡めていくなどの対策が必要である。</li> <li>・ 企業のメセナ活動はもっとやってほしい。そのためには、企業のメリットも必要。(例えば容積率アップなど)</li> <li>・ 絵を描いている人に企業が支援する仕組みができると良くなる(制約もあるが)。若い人は今は自分たちの出来る範囲で取り組んでいる(例:札幌未来展)が、もっと広がると思う。</li> <li>・ 市がアーティストへカードを渡し、画材が少し安くなるといった仕組みがあると良い。公募にて審査は厳しくすると良い。</li> </ul>

<p>②文化芸術をつなぐ新たな役割の育成・支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昔はよく ICC に行っていた。最近久々に行ったが、クリエイターにとってはとても貴重な場所になっている。安い、横の連携が出来る、世界とつながれるといった点で、映像産業の底上げにつながっている。</li> <li>・ 複合施設に期待している。</li> <li>・ 国際芸術祭の参加者はボランティアの熱気がすごかったと聞いた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画に明記したということだけでは、成果とは言えないのではないか。</li> <li>・ 取組内容を読んでびっくりした。アートマネジメントの育成について、アートマネジメントを仕事にしている人はみんな、現場に入って今の職についている。講座だけでは育たない。</li> <li>・ 育成については分かったが、その行先の受け皿が用意されるべき。</li> <li>・ アートマネジメントについて検討中となっているが、どう検討しているか分からない。</li> <li>・ インターンの話はあるが、対応する余力がない。芸術祭の時にインターン受入用の人材を用意するなどしなくてはならない。インターンではないが、学校との交流は出てきている。SIAF ラボでインターンは受け入れていた。</li> <li>・ 学校の計画の立て方とシステムが合っていないのではないか。学校からのアプローチはあまりない。学校は外部からの情報があまり得られないため、学校にアプローチすると良いかもしれない。</li> <li>・ 民間のアートイベントの関わりはどうか？市との連携はないのではないか。</li> <li>・ 短編映画祭や今の No Maps が市民にもっと広がると良い。</li> <li>・ ボランティア参加者へのアンケートは必要である。</li> <li>・ アートボランティアが参加したい、また手伝いたいと思えるような内容や支援が必要である。 (例：本人達の成長につながるもの)</li> </ul>
-----------------------------	--	---

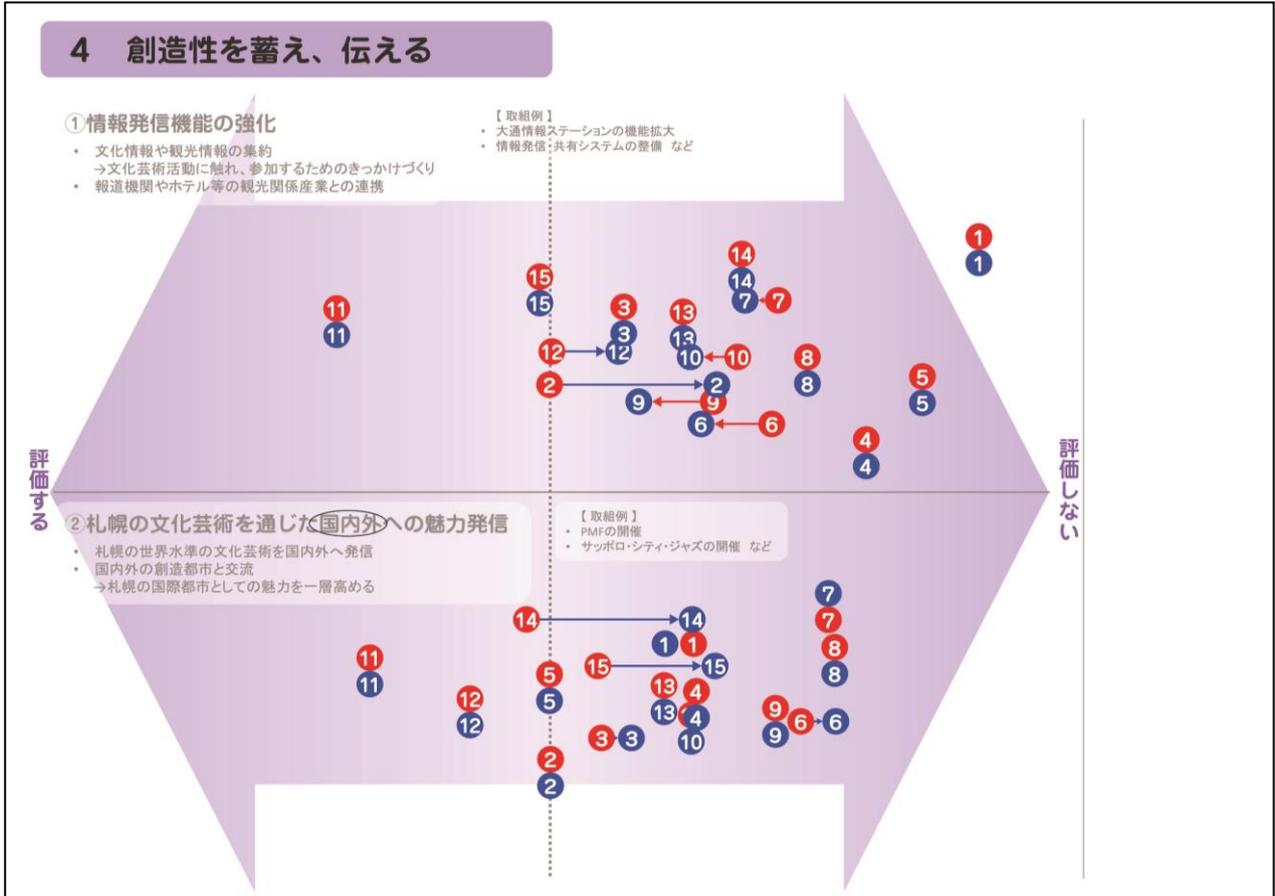
<p>③文化資産・自然資産の保存と活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アイヌ文化について南北線コンコースに白老町と連携した展示が出来る。期待できる。</li> <li>・ アイヌの研究をしっかりとやっている。具体的に色々やっていて良い。</li> <li>・ 文化資産について、調査しているとのことだったが、今のうちに調べておくことはとても大事。例えば、真駒内のオリンピックを契機につくられた建物や環境は資産になりうる。</li> <li>・ 札幌らしさや他の施設とかぶらないような施設をつくろうとしているところが評価できる。古いものと新しいものをミックスさせていこうとしている。</li> <li>・ 北海道大学博物館は昔の理学部の建物を使っている。新しく造る博物館もそんな博物館になることを期待する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歴史的資産活用推進事業について、調査を進めているということだが、その先はどうするのか。どう活用していくのかが不明確である。まちづくりに活かせるように調査結果を活用してほしい。</li> <li>・ 最近の若い人は古い建物が格好良いと思う人が多い。それならば、若い人の意見を取り入れられるようにすると良い。</li> <li>・ 若い人向けの歴史的建造物ツアーを企画してはどうか。アート×歴建の取り組みをやるのも良い。</li> <li>・ 博物館のイメージがわからない。また新たな箱をつくるのかと思った。北海道博物館ではダメなのか。新たな施設より既存のものの修繕を優先してほしい。</li> </ul>
-------------------------	---	--

#### 《その他の意見》

- ・ 芸術大学や美術大学という名の付く学校が北海道にない。やりたいと思っている人が外に出ていってしまうし、アートにすごく良い環境だと思うため、できると良い。
- ・ 教育大の芸術学部が岩見沢へ移動してしまった。市内に学校が少ない。
- ・ クリエイティブ事業者とは誰を指すのか。→経済センサスから分類されている。

4) 創造性を蓄え、伝える

■全体のまとめ



	評価する理由	評価しない理由
①情報発信機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アプリがあるのは知らなかった。もっと活用すると良い。</li> <li>・ クーポンは学生や観光客にうれしい。東京アートビートは良い。おすすめ。</li> <li>・ ウィークリープレスは良い。</li> <li>・ 親子ジャズは満席だったのでニーズはある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報ステーションの利用者は市民ではなく、観光客である可能性が高い。ステーションに訪れた人がどのくらい芸術文化の体験や鑑賞に流れているかなど、その効果がどのくらいあるのか知りたい。</li> <li>・ ウィークリープレスは良いが、配る場所をもっと増やすべき（全駅に）。字が小さくて高齢者にはきついためユニバーサルフォントにし、もっと持ちやすいサイズにする。頑張っているけどまだまだ情報はあまる。</li> <li>・ とにかく情報を集めるやり方があるため、もう一步踏み込んだ情報があると良い。それは市で行うので、民間が行う発信をサポートする仕組みがある。色々な信頼できる媒体が必要である。</li> <li>・ アプリなど、ものは揃っているので上手く活用できれば良くなるのではないか。</li> <li>・ さっぽろインフォは使いづらく、市民向けではない感じがする。</li> <li>・ アンケート結果の満足度について、若い人は特に「分からない」という回答が多い。取組自体が知られていないため、発信が必要である。</li> <li>・ もっとママさんたちが美術館などを普段使いできるように情報発信をしていくべき。</li> <li>・ 親の興味がないと子どもにもきっかけがなくなる。美術館などは子連れで行けないイメージがある。</li> <li>・ 海外では、美術館でベビーカーが多い。札幌でもそのようにするには、どのような取組が必要なのだろうか。子どもを連れて行って良い日を設けるなどといったことから始めていけると良い。</li> <li>・ 主婦に聞いても、行きたいところなどすぐに出てこないため、みんな興味がないのではないか。もう少し若い人向けにできることがあると思う。</li> <li>・ 前回グループのみなさんから聞いた意見により、芸術の森美術館のホームページが見つらいことや英語版が無いとのこと指摘をいただき、評価が下がった。</li> </ul>

② 札幌の文化芸術を通じた国内外への魅力発信

- ・ まずは市内への発信を重視すべき。
- ・ 一般市民の方にユネスコは浸透していないだろう。
- ・ 民間イベントの情報発信はあまりされていないのでは無いのではないか。もっと積極的にすると良い。
- ・ 魅力発信するコンテンツをもっと増やさないといけない。
- ・ エクスチェンジが大事。世界の人を受け入れ、送り込む、交流の取り組みが必要である。受け入れは行っているが、送り出しは行っていない。作品の交換もある。なかなか良いものだが、北海道にはまだ来ていない。
- ・ イベント時に、外国語対応ができる人にも活躍してもらえ。そうすると文化に触れるきっかけになるのではないか。
- ・ ユキテラスの内容がイマイチである。初めてアートに触れる方が見た時、良い内容でない次も来てくれない。
- ・ さっぽろユキテラスをもう少し大きくやってもよかった。小さいかまくらが少ししかなかった。取り組むならもっと大規模なものが良い。